

# 『宝ヶ池の沈まぬ亀Ⅱ ある映画作家の日記 2020-2022』

—または、いかにして私は酒をやめ、まっとうな余生を貫きつつあるか—

青山真治 著

**12月25日発売**

2022年3月21日、57歳の若さで逝去した映画監督青山真治。

その死の直前まで綴られた、映画と演劇と小説と音楽とともに生きた濃密な1年半の記録。

連載されていた boid マガジン未掲載の最期の1か月分も収録した完全版。

アンソニー・ホプキンスは四十五年前の誕生日前日に断酒を始めたらしい。三十八歳だろうか、当然その頃依存症だったのだろう。四十五年にはまず届かないが、私も死ぬまで断酒するので、今後彼を師と仰ぎたい。

大晦日午前零時零分、天空の満月は私の真上に輝いていた。（本文より）

2020年9月から2022年2月まで、WEB マガジン「boid マガジン」に連載された日記のまとめ。最終章2022年3月分は入院先の病院で執筆途中に逝去。本人による確認、修正などはなされぬままの剥き出しの記録となった。

## ■青山真治

1964年7月13日、福岡県北九州市門司に生まれる。立教大学文学部卒。

1996年『Helpless』で映画監督デビュー。2000年『EUREKA』がカンヌ映画祭で二つの賞を受賞。同作の小説版が三島由紀夫賞を受賞。11年『東京公園』でロカルノ映画祭金豹賞。その他の代表作に『月の砂漠』『エリエリレマサバクタニ』『サッドヴァケイション』『共喰い』など。2015年度まで四年間、多摩美術大学映像演劇学科教授。同学の卒業生、甫木元空監督『はるねこ』をプロデュース。制作会社「MINER LEAGUE」設立。2016年京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）映画学科の学科長を一年のみ務める。2020年公開の『空に住む』が遺作となった。2022年3月21日没。

.....  
[製作・発売：株式会社 boid]

番線印	ご注文	発行：boid	分野
	冊	宝ヶ池の沈まぬ亀Ⅱ ある映画作家の日記 2020-2022 —または、いかにして私は酒をやめ、まっとうな 余生を貫きつつあるか 青山真治 著	小説・エッセイ
	ご担当	四六判変形 上製本 本文 592 ページ 定価：本体 3,500 円＋税	出荷条件： 返品条件付 注文扱い
	様	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新刊</span> ISBN 978-4-9912391-1-3	

ご注文・お問合せは JRC へ お申し込み FAX 03-3294-2177

JRC 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 風間ビル 1F

TEL：03-5283-2230 E-mail：info@JRC-book.com

詳細：[www.boid-s.com](http://www.boid-s.com)

\*全ての取次ぎへの出荷可能です。